

## センターからのお知らせ

# 最近のできごと

### 1. 青葉山地区回収配管の更新

平成28年1月、青葉山地区（北青葉山キャンパス）におけるヘリウムガス回収配管のうち、老朽化が著しかった部分（理学部物理系研究棟-物理系講義棟-化学系研究棟-巨大分子解析センター棟）の更新を行いました。更新にあたっては、これまでの銅配管から、ステンレス配管に切り替え、耐久性の向上を図りました。

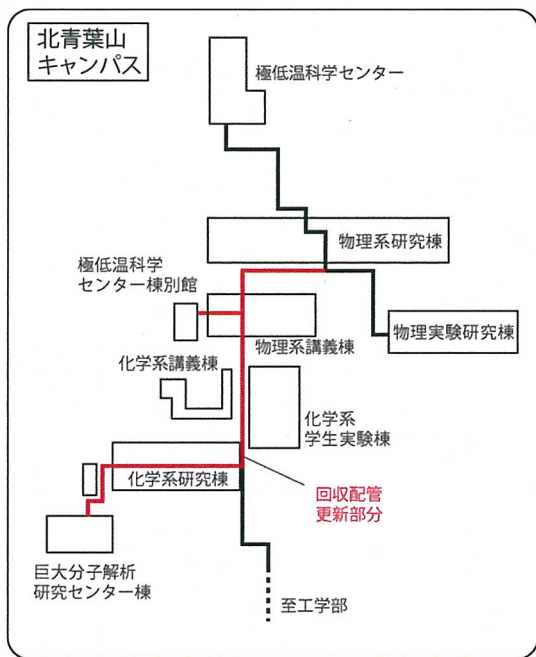


図1 今回更新を行った回収配管（赤線部分）。

### 2. 片平まつり

東北大学片平キャンパスで片平まつり（研究所一般公開）が平成27年10月10日-11日の期間に開催されました。低温科学部はその一貫として行われた金属材料研究所一般公開で、『ふしぎ能力「超伝導」』と題したブースを金研低温・強磁場関連研究室と共同で開き、液体窒素を使った超伝導磁気浮上の体験実験や低温のデモ実験を行いました。特に高温超伝導体をつかった超伝導ジェットコースターは長い

行列ができるほど人気があり、来場した子ども達に楽しんでもらいました。

### 3. オープンキャンパス

東北大学のオープンキャンパスが平成28年7月27日及び28日に開催され、これに青葉山地区の極低温物理学部も参加しました。オープンキャンパスは、大学の授業や研究内容を高校生に知ってもらうために毎年行われています。本年度も、「極低温の世界」というテーマで、低温でおきる不思議な物理現象について公開実験を行い、多くの来場者に楽しんでもらいました。



図2 オープンキャンパスで、液体窒素を使って空気中の酸素を液化している様子。

### 4. 大学の授業への協力

低温科学部では東北大学の一年生に対する全学教育科目の「基礎ゼミ」（平成28年6月）や工学研究科の大学院生に対する「応用物理工学原論」（平成27年10月）への授業協力として、施設見学を行いました。

